

「日本と中国の気候変動政策」

今日、世界最大の温室効果ガス排出国となった中国では、日本と同様気候変動対策に取り組むとともに、日本と同様、低炭素社会・持続可能な成長への移行を目指した中長期的な政策の検討・研究が行われています。

今回、日本の環境省及び気候変動に関わる研究者との共同研究ワークショップのために来日した劉強：中国国家国際気候戦略センター戦略企画研究部主任ほか、日中の第一線の研究者・行政官の方々に、日本と中国の地球温暖化政策・研究の最新の状況を伺います。



日時 7月12日(金) 13:30~16:00
会場 環境科学院D-201教室
聴講 本学学生・関係者 一般の方
定員 100名 当日参加可

日本語⇔
中国語 逐
次通訳あり



プログラム(予定)

- ①中国における気候変動政策の最新動向
劉強 国家国際気候戦略センター戦略企画研究部主任
- ②日本の気候変動政策の現状
戸田英作 環境省地球環境局国際連携課長
- ③中国における再生可能エネルギー開発の現状と将来戦略
高虎 国家発展改革委エネルギー研究所再生可能エネルギーセンター副主任
- ④日本と北海道における持続可能な低炭素社会の展望
吉田文和 北海道大学教授
- ⑤ポスト2020年の国際的な枠組みと日本・中国への影響
亀山康子 国立環境研究所持続可能社会システム研究室長
(講演者又はタイトルは変更される場合があります)

主催：環境省
共催：北海道大学

地球環境科学研究院・環境科学院・公共政策大学院「持続可能な低炭素社会」プロジェクト

申込み・問合せ先：「持続可能な低炭素社会」プロジェクト事務局あて、氏名、連絡先及び所属(北大関係者／一般)を記載の上、メールまたはファックスでお申し込みください。なお、当日参加も受け付けます。 low-carbon@hops.hokudai.ac.jp TEL /FAX011-706-4717